

「第69回北海道広報コンクール」実施要綱

1 目 的

本道の自治体等における広報活動を奨励するとともに、広報技術の向上に資するため、令和4年（2022年）1月～令和4年（2022年）12月の間に市町村及び関係団体が発行・発表した広報紙（誌）、広報写真、映像について優秀な作品を表彰し、併せて全国広報コンクールに推薦する。

また、応募時点で公開されている市町村のウェブサイト及び広報企画について、全国広報コンクールに推薦する。

2 主 催

広報広聴技術研究会実行委員会（北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成）

3 事業概要

（1）応募要件

応募作品は、各媒体とも市町村及び団体の企画によるもので、令和4年（2022年）1月～令和4年（2022年）12月の間に発行、発表、公開されているものを対象とする。

なお、広報写真は職員の撮影（プロのカメラマンが撮影したものは対象としない）によるものとする。

（2）対象部門と種目

① 広報紙（誌）

ア 市の部

イ 町村の部

ウ 政府機関・団体の部

② ウェブサイト ……市町村の部

③ 広報写真

ア 一枚写真 ……市町村の部、政府機関・団体の部

イ 組み写真 ……市町村の部、政府機関・団体の部

④ 映 像 ……市町村の部

⑤ 広報企画 ……市町村の部

（3）応募締切

令和4年（2022年）12月5日（月） ※必着

（4）参加対象

市町村、政府機関・団体

（5）審査

次に掲げる項目について、主催者及び主催者が委嘱する審査員が審査を行う。

なお、ウェブサイト及び広報企画については、別途定めた応募基準を満たしていることを確認する。

① 広報紙（誌）

ア 企画（記事の切り口の発想性）

イ 文章（表現力、読みやすさ、表記等）

ウ デザイン・レイアウト

② 広報写真

- ア 表現力（紙面の中での写真表現の有効性）
- イ 技術力（撮影の技術）
- ウ レイアウト、キャプションの使い方

③ 映像

- ア 企画力
- イ 表現力、構成力
- ウ 視覚的効果（技術を活用した効果等）

（6）賞の種類

応募作品は、主催者及び主催者が委嘱する審査員による審査会の審査を経て、次のとおり特選及び入選を選定する。

なお、入選作品については、順位を付さず、すべて入選とする。

① 広報紙（誌）

- ア 特選 市の部、町村の部、政府機関・団体の部から各1点。
ただし、選定できる作品がない場合は「該当作品なし」とする。
- イ 入選 市の部及び政府機関・団体の部は3点程度。町村の部は5点程度。

② 広報写真

- ア 特選 一枚写真、組み写真とも市町村の部、政府機関・団体の部から各1点。
ただし、選定できる作品がない場合は「該当作品なし」とする。
- イ 入選 一枚写真、組み写真とも市町村の部及び政府機関・団体の部から3点程度。

③ 映像

- ア 特選 市町村の部から1点。
ただし、選定できる作品がない場合は「該当作品なし」とする。
- イ 入選 市町村の部から3点程度。

（7）発表及び表彰

応募作品の審査結果（ウェブサイト及び広報企画を除く）は、当該自治体等に通知する。

また、選定された自治体等の表彰は、「令和5年度広報広聴技術研究会」において行う。

（8）全国広報コンクールへの推薦

広報紙（誌）については「市の部」「町村の部」合わせて2点を、広報写真については「一枚写真」「組み写真」合わせて2点を、映像については1点を、ウェブサイト及び広報企画については全応募作品を公益社団法人日本広報協会主催の「令和5年全国広報コンクール」に推薦する。

なお、全国広報コンクールへの推薦に当たっては、日本広報協会の会員（新規加盟は随時可能）であるか、非会員団体の場合はエントリー料を日本広報協会に納めることで応募が可能である。

※ エントリー料

- ① 日本広報協会会員団体 無料
- ② 非会員団体 25,000円（R 4 13,000円）

（9）その他

応募基準の詳細、応募方法等については別途、要領により定める。